

<日本産業保健法学会第6回学術大会 開催概要>

1. 大会の名称

日本産業保健法学会第6回学術大会 <https://jaohl.info/>

2. 大会長・副大会長・事務局長

大会長：黒澤 一（東北大学 環境・安全推進センター 教授）

副大会長：高橋 正也（独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター センター長）

事務局長：泉 陽子（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授）

3. 会期

- ・現地・ライブ配信 ▶ 2026年8月29日(土)・30日(日)
- ・オンデマンド配信 ▶ 2026年9月14日(月)～10月18日(日) (予定)

4. 開催方式

- ・現地開催 ▶ 会場：KFC Hall & Rooms 〈国際ファッションセンター〉
(〒130-0015 東京都墨田区横綱 1-6-1)
- ・オンライン開催 ▶ ライブ配信、およびオンデマンド配信

5. 会場

KFC Hall & Rooms 〈国際ファッションセンター〉 (〒130-0015 東京都墨田区横綱 1-6-1)

6. 大会の概要

統一テーマ「変化する労働者像と産業保健法」

7. 参加者予定数

約1,100名

8. 参加費

	登録および入金期間	会員 (個人・賛助・学生) *非課税	非会員 *課税
学術大会 参加費	1次登録 4/13(月) 9:00 ~ 7/31(金) 23:59	8,000円 (学生 3,000円)	12,000円
	2次登録 8/1(土) 9:00 ~ 10/15(木) 23:59	10,000円 (学生 3,000円)	14,000円

*産業医研修登録期間：4/13(月)～8/21(金)

9. プログラム

登壇者一覧はこちら→ <https://jaohl.info/2026program/>

(1) 大会長講演

労働者像の変化とは何か – 産業保健と法の視点から

(2) 教育講演 1

産業保健の現場でエビデンスを作る

(3) 教育講演 2

労働行政の動向

(4) メインシンポジウム

「個人事業者等の安全と健康」 法と産業保健の視点で考える今後の実務対応

(5) シンポジウム 1

多職種連携による産業保健の良好実践とは - 判例と実践事例からの検討 -

(6) シンポジウム 2

芸能従事者の安全・健康確保と法

(7) シンポジウム 3

「働きたい改革」と労働者の健康確保

(8) シンポジウム 4

パンデミック対策における医学と法学 ～因果関係論と政策評価における二重視座～

(9) シンポジウム 5

産業保健における健康情報の「取得」と「保護」の境界線

(10) シンポジウム 6

「高齢者雇用と仕事の治療の両立支援」 - 様々な疾患を抱える高齢者たちの就労継続にどう対応していけばよいか? -

(11) シンポジウム 7

産業医の守秘義務をどう考えるか - 黙る義務か、伝える責任か -

(12) シンポジウム 8

産業保健の再定義 - 全人的アプローチの必要性を問う -

(13) シンポジウム 9

精神障害の労災事案の急増をどう読むか - 医学・法学からみた制度・実態・社会的背景 -

(14) シンポジウム 10

化学物質の自律的管理を考える：諸外国の対応は

(15) 連携学会シンポジウム 1 <日本産業精神保健学会>

メンタルケアと『注意指導』の実効的両立にむけて - 事例性に対して求められる手続的理性のありかたと、その際の産業保健の役割とは -

(16) 連携学会シンポジウム 2 <全国社会保険労務士会連合会>

中小企業における効果的な健康経営の実現に向けて - 事業者・社労士・産業保健スタッフの相互連携の重要性 -

(17) 連携学会シンポジウム 3 <日本産業ストレス学会>

裁判所による産業ストレスの認定を検証する (6)
国・瀬戸労基署長 (東濃信用金庫) 事件をめぐって

(18) 連携学会シンポジウム 4 <JAOHL 弁護士・大阪弁護士>

弁護士・医師による産業保健の学際的検討

(19) 模擬裁判

メンタル疾患に基づく疑いのある行為と懲戒処分、安全配慮義務違反の成否

(20) 事例検討

性格特性を抱える労働者へ指導とパワハラ

～TCL JAPAN ELECTRONICS 事件から学ぶ、性格特性を抱える労働者への対応と休復職実務
産業保健職、法律家がいれば防げたのか?～

(21) 協賛セミナー

(22) 一般演題

10. 企画委員等 (*五十音順)

企画委員 (34名)

- 秋山 陽子 (株式会社 SUNNY 産業医事務所)
石倉 正仁 (全国社会保険労務士会連合会)
井上 洋一 (愛三西尾法律事務所)
井村 真己 (追手門学院大学法学部)
色川 俊也 (東北大学大学院医学系研究科産業医学分野)
大塚 泰正 (筑波大学人間系心理学域)
岡本 昭夫 (京都工場保健会)
小田上 公法 (産業医科大学産業生態科学研究所)
加藤 憲忠 (富士電機株式会社)
鎌田 耕一 (東洋大学名誉教授)
倉重公太郎 (KKM 法律事務所)
小島 健一 (鳥飼総合法律事務所)
菰口 高志 (弁護士法人大江橋法律事務所)
笹井 健司 (笹井社会保険労務士事務所)
佐々木 達也 (名古屋学院大学)
佐藤 文彦 (Basical Health 株式会社)
鈴木 悠太 (法律事務所トレック)
田中 克俊 (北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学)
田原 裕之 (産業医科大学産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室)
中原 浩彦 (NAOSH コンサルティング)
永田 智久 (産業医科大学産業生態科学研究所 産業保健経営学)
林 幹浩 (株式会社ビスメド)
原 俊之 (青森中央学院大学)
坂野 祐輔 (ばんの事務所)
帆苺なおり (東京工科大学医療保健学部看護学科地域看護学)
堀内 聡 (弁護士法人淀屋橋・山上合同)
増田 将史 (産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター)
真鍋 憲幸 (三菱ケミカル株式会社総務人事本部)
三柴 丈典 (近畿大学法学部)
水谷 明男 (Office Le Chien 合同会社)
吉川 徹 (独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター)
淀川 亮 (弁護士法人英知法律事務所)
米津 孝司 (中央大学大学院法務研究科)
渡邊 徹 (弁護士法人淀屋橋・山上合同)

アドバイザー (2名)

- 田中 克俊 (北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学)
山田 剛彦 (公益財団法人 産業医学振興財団)

11. 日程表

第1会場 (315名)	第2会場 (168名)	第3会場 (96名)	第4会場 (120名)
9:40-9:50開会式 9:50-10:40 大会長講演 労働者像の変化とは何か 一産業保健と法の視点から 座長:上床輝久/演者:黒澤一			
10:50-12:50 メインシンポジウム 「個人事業者等の安全と健康」法と産業保健の視点で考える今後の実務対応 座長:黒澤一/座長:演者:菰口高志/ 演者:船井雄一郎、守田祐作、井村真己	10:50-12:50 シンポジウム1 多職種連携による産業保健の良好実践とは〜判例と実践事例からの検討〜 座長:帆刈なおみ/座長:演者:原俊之/ 演者:岩田とも子、福島 南、関矢 和樹		
13:00-13:50 協賛セミナー1 バイオコミュニケーションズ株式会社			
14:00-16:00 シンポジウム2 芸能従事者の安全・健康確保と法 座長:鎌田 耕一、吉川 徹/演者:森崎めぐみ、岩田佳典、江口 尚、船井 雄一郎、佐々木達也	14:00-16:00 連携学会シンポジウム1 (日本産業精神保健学会) メンタルケアと『注意指導』の実効的両立にむけて一事例性に対して求められる手続的理性のありかた と、その際の産業保健の役割とは― 座長:田中克俊/座長:演者/吉田肇 演者:鈴木悠太、渋谷純輝、林 幹浩	14:00-16:00 シンポジウム3 2時間 「働きたい改革」と労働者の健康確保 座長:笹井 健司、田原 裕之 演者:石崎由希子、高橋正也、安中繁、小川英郎	
16:10-18:10 事例検討 性格特性を抱える労働者へ指導とパワハラ〜TCL JAPAN ELECTRONICS事件から学ぶ、性格特性を抱える労働者への対応と休復職実務 産業保健職、法律家がいれば防げたのか?〜 座長:堀内 聡、岡本昭夫/演者:白波瀬文一郎、若林佳奈、前野孝明、有岡一大、市橋耕太	16:10-18:10 連携学会シンポジウム2 (全国社会保険労務士連合会) 中小企業における効果的な健康経営の実現に向けて〜事業者・社労士・産業保健スタッフの相互連携の重要性〜 座長:演者/坂野祐輔、森本秀樹/演者:石倉正仁、秋山 陽子、稲田耕平、藤吉奈央子、小高康一	16:10-18:10 シンポジウム4 パンデミック対策における医学と法学 因果関係論と政策評価における二重視座〜 座長:演者:米津 孝司、川村孝/演者:米村滋人、溝上哲也	
18:30 懇親会			
第1会場 (315名)	第2会場 (168名)	第3会場 (96名)	第4会場 (120名)
9:00-11:00 模擬裁判 メンタル疾患に基づく疑いのある行為と懲戒処分、安全配慮義務違反の成否 座長:倉重 公太郎、永田智久 演者:岡本 龍也、染村宏法、寺前翔平、伊藤安奈、	9:00-11:00 連携学会シンポジウム3 (日本産業ストレス学会) 裁判所による産業ストレスの認定を検証する(6) 国・瀬戸労基署長(東濃信用金庫)事件をめぐって 座長:大塚泰正、座長:演者/井村真己 演者:野上晶平、田中克俊、張 賢徳	9:00-11:00 シンポジウム5 産業保健における健康情報の「取得」と「保護」の境界線 座長:増田 将史/座長:演者/菰口高志/ 演者:佐々木直子、鳥津美由紀、長谷川珠子	
11:10-12:00 教育講演1 産業保健の現場でエビデンスを作る口 座長:泉陽子/演者:川村 孝			一般演題① 1時間30分
12:10-13:00 協賛セミナー2 KOMFT産業医センター	12:10-14:10 連携学会シンポジウム4 (JAOHL弁護士会・大阪弁護士会) 弁護士・医師による産業保健の学際的検討 座長:澁川 亮、水谷明男/演者:伊豆浩幸、上床輝久、大林知華子、浜本光浩	12:10-14:10 シンポジウム6 「高齢者雇用と仕事の治療の両立支援」〜様々な疾患を抱える高齢者たちの就労継続にどう対応していけばよいか?〜 座長:渡邊 徹、佐藤 文彦 演者:中井 智子、竹下 溪	一般演題② 1時間30分
13:30-15:30 シンポジウム7 産業医研修会 専門2単位 産業医の守秘義務をどう考えるか―熱る義務か、伝える責任か― 座長:井上洋一、加藤 憲忠 演者:竹口 英伸、鎌田 直樹、海野 賀央	14:20-16:20 シンポジウム8 産業保健の再定義 ―全人的アプローチの必要性を問う― 座長:小田上公法/座長:演者/小島健一 演者:辻洋志、安藤明美	14:20-16:20 シンポジウム9 精神障害の労災事案の急増をどう読むか ― 医学・法学からみた制度・実態・社会的背景 ― 座長:高橋正也/座長:演者/佐々木達也 演者:吉川徹、北岡大介	一般演題③ 1時間30分
15:40-16:40 教育講演2 産業医研修会 更新1単位 労働行政の動向 座長:黒澤一/演者:諸富伸夫	16:30-18:00 シンポジウム10 化学物質の自律的管理を考える:諸外国の対応は 座長:真鍋 憲幸/座長:演者:中原浩彦 演者:磯島浩二、後藤真一		
18:10-18:40 閉会挨拶			

12. 問合せ先

【学会本部事務局】一般社団法人日本産業保健法学会事務局

(〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
TEL : 03-6267-4550)

【産業医研修会問合せ先】杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室 (担当：阿部)

(〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2 杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室内
Mail : jaohl.taikai@gmail.com)